

平成 28 年 6 月 16 日

平成 27 年度「卒業生アンケート」集計結果の分析

大学教育センター教育開発部門

平成 28 年 1 月 18 日～3 月 20 日の間、平成 27 年度の卒業生に学内専用ポータルサイト「ゼルコバ」を利用して、「福山大学での学修を振り返るアンケート調査」（以下、「卒業生アンケート」）に対する回答を依頼した。

調査項目は、「福山大学での学びを経て、入学前と比べてあなた自身はどのように変化したと思いますか？」という学修による変化（A：知識・技能面 6 項目、B：態度・精神面 9 項目）、「福山大学での学生生活にどれくらい満足していますか？」という学生生活の満足度（9 項目）、および「福山大学での学び全体を通して、あなたの満足度を%で表現すれば、次のどれに当たりますか？」という学修環境の満足度に「あなたは、もう一度福山大学で学ぶ機会が得られるとすれば、何を望みますか、簡単に書いてください（自由記載）」を加えた 24 項目で実施した。卒業生の回答率は 54.2% であった。

【分析結果および所見】

（1）学修による自己の変化に関する解析：知識・技能面

下記の 6 項目について、入学前と比較した自己の変化について調査した。

1. プレゼンテーション能力
2. コンピュータを用いた情報処理能力
3. 専門的知識・技能
4. 外国語の運用能力（表現と理解）
5. 日本語の運用能力（表現と理解）
6. 一般的な教養

（評価段階）

- | | | |
|----------------------------------|----------------------------------|--------------------------------|
| <input type="checkbox"/> かなり向上した | <input type="checkbox"/> 少し向上した | <input type="checkbox"/> 変わらない |
| <input type="checkbox"/> 少し低下した | <input type="checkbox"/> かなり低下した | <input type="checkbox"/> わからない |

「専門的知識・技能」で 47.3%の学生が「かなり向上した」と回答しており最も高い割合であった。続いて、「一般的な教養」39.2%、「コンピュータを用いた情報処理能力」29.5%であった。一方、「外国語の運用能力（表現と理解）」で「かなり向上した」と回答したのは、7.5%で最も低かった。

専門的な知識や技能、一般教養、情報処理能力、プレゼンテーション能力については、学修効果を実感している学生が多いことが示された。一方、外国語については学修効果を十分に感じていない学生が多いことが示された。レベルナンバーリング制が導入されるなど、外国語教育の改革が実施されている。新しい外国語教育を受けた学生では、この項目の評価が改善されていることを期待したい。

（2）学修による自己の変化に関する解析：態度・精神面

下記の 9 項目について、入学前と比較した自己の変化について調査した。

1. 自己理解
2. 社交面（人間関係）での自信
3. 知的面での自信
4. チャレンジ精神
5. 他者を理解する力
6. リーダーシップ
7. 意欲（やる気）
8. 創造性
9. 協調性

（評価段階）

- | | | |
|----------------------------------|----------------------------------|--------------------------------|
| <input type="checkbox"/> かなり向上した | <input type="checkbox"/> 少し向上した | <input type="checkbox"/> 変わらない |
| <input type="checkbox"/> 少し低下した | <input type="checkbox"/> かなり低下した | <input type="checkbox"/> わからない |

「他者を理解する力」で 31.0%の学生が「かなり向上した」と回答しており最も高い割合であった。続いて、「協調性」30.1%、「意欲（やる気）」29.5%であった。一方、「リーダーシップ」で「かなり向上した」と回答したのは、14.5%で最も低かった。

「リーダーシップ」以外の 8 項目については、「かなり向上した」と「少し向上した」を合わせた回答率が 70~80%に達しており、自己に対して肯定的な評価を行っていた。特に、「協調性」と「意欲（やる気）」については、採用企業のアンケートでも高い評価を得ており、学生自身の評価と企業評価が一致している。一方、「リーダーシップ」については、肯定的な評価をした学生が低かったが、これが本学卒業生の特性なのか、現在の大学生一般的な傾向なのかについては、本アンケート結果だけでは判断できない。

（3）福山大学での学生生活にどれくらい満足していますか？

下記の7項目について調査した。

1. 大学での経験全般について
2. 大学の中での学生同士の一体感
3. 教職員による学生支援体制
4. これからのキャリアに対する授業内容の有効性
5. 専門分野の授業
6. 外国語の授業
7. 共通教育（一般教養）の授業

（評価段階）

- | | | |
|------------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------|
| <input type="checkbox"/> とても満足している | <input type="checkbox"/> 満足している | <input type="checkbox"/> 普通 |
| <input type="checkbox"/> 不満である | <input type="checkbox"/> とても不満である | <input type="checkbox"/> わからない |

「大学での経験全般について」で 72.3%の学生が「とても満足している」および「満足している」に回答しており最も高い割合であった。続いて、「専門授業の授業」の 67.5%、「共通教育（一般教養）の授業」の 64.8%であった。一方、「外国語の授業」は 28.6%で最も低かった。

学修による自己の変化に関する解析（知識・技能面）の結果と同じく、大学全般および専門科目の学修については満足度が高い結果が示された。一方、外国語については、学修効果を十分に感じていない学生が多いことと同時に、授業に関する満足度の低いことが示された。授業満足度が低いことと、学修効果を感じていないことについては相関していると推測される。この点については上述したとおり、外国語教育改革の成果を待ちたい。

（4）福山大学での学び全体を通して、あなたの満足度を%で表現すれば、次のどれに当たりますか？

（評価段階）

- | | | |
|-------------------------------|------------------------------|------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 100% | <input type="checkbox"/> 80% | <input type="checkbox"/> 60% |
| <input type="checkbox"/> 40% | <input type="checkbox"/> 20% | <input type="checkbox"/> 0% |

「100%」と「80%」を併せて 68%であった。また、90%以上の学生が満足度 60%以上と回答した。この結果は、卒業生は福山大学での学びに比較的高い満足度を示していると考えられる。

（5）あなたは、もう一度福山大学で学ぶ機会が得られるとすれば、何を望みますか？

自由記載

100 以上の記載が寄せられた。「他の学部、学科でも勉強してみたい。」、「専門資格や教員免許を取得したい。」、「業研究や研究室配属をもっと早い学年時から始めたかった。」など、違う分野へのチャレンジ、資格取得、あるいは専門性を高めるなどの、学修意欲にあふれた記載が大部分であった。また、大学に対する要望として、スクールバスの運行をはじめとする通学手段の利便性向上が寄せられた。

【総括】

平成 27 年度卒業の学生については、福山大学での学びにより自己の能力が向上したと判断しており、福山大学での学修についても概ね高い満足度を示していた。教員職員が取り組んだ教育改善の努力の結果であると考えられる。今後、e ラーニングや ICT 教育などをさらに拡充し、学生満足度と学修成果の向上を目指していくことが大切である。

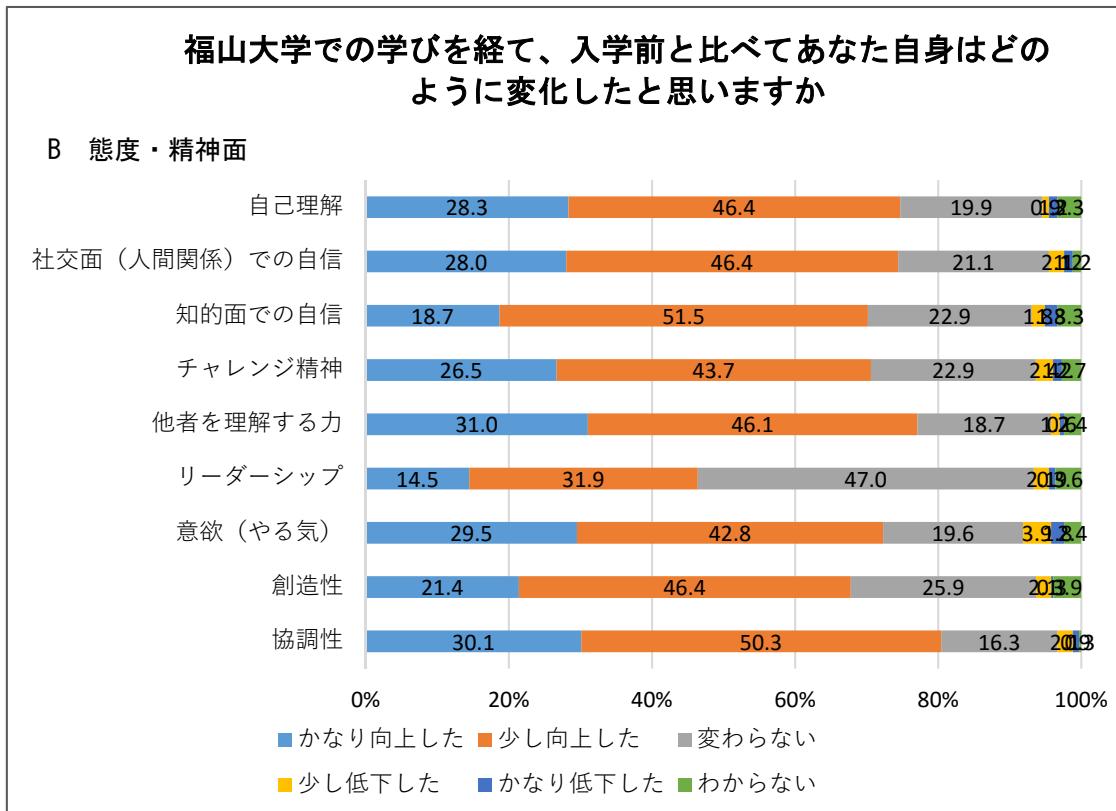
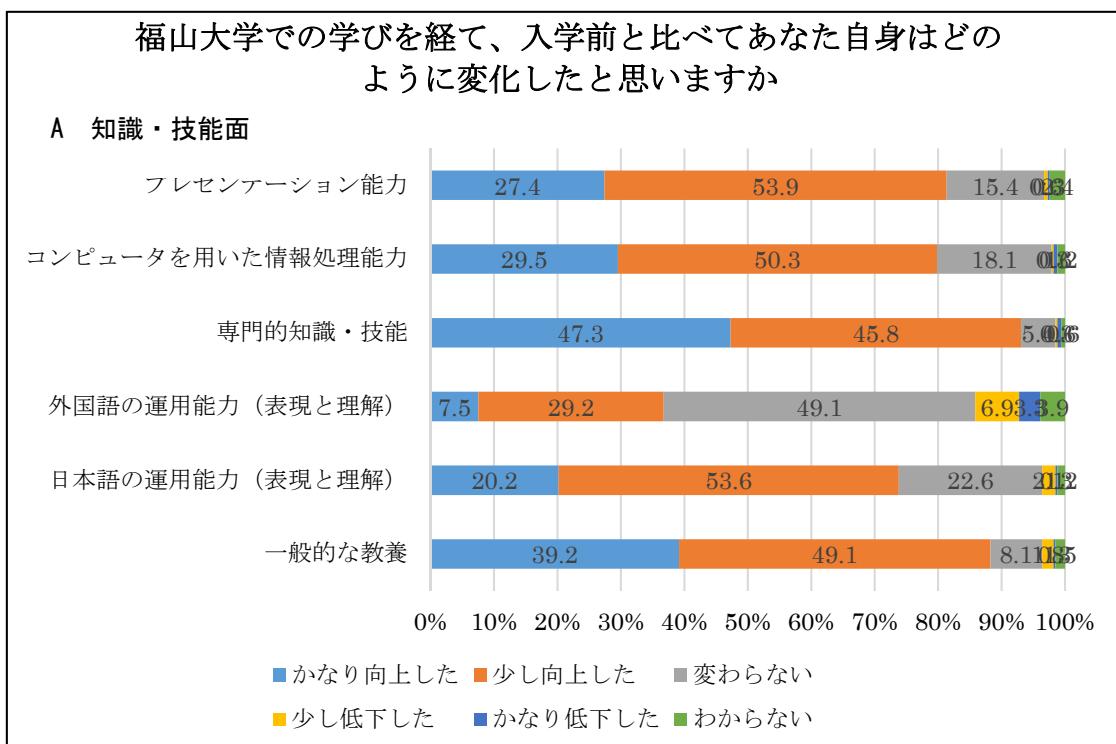
解析結果でも記載したが、外国語教育については満足度、自己変化の評価とも低い値を示した。この点については、平成 28 年度から導入された外国語教育改革の成果を期待したい。

大学教育センター長：大塚 豊

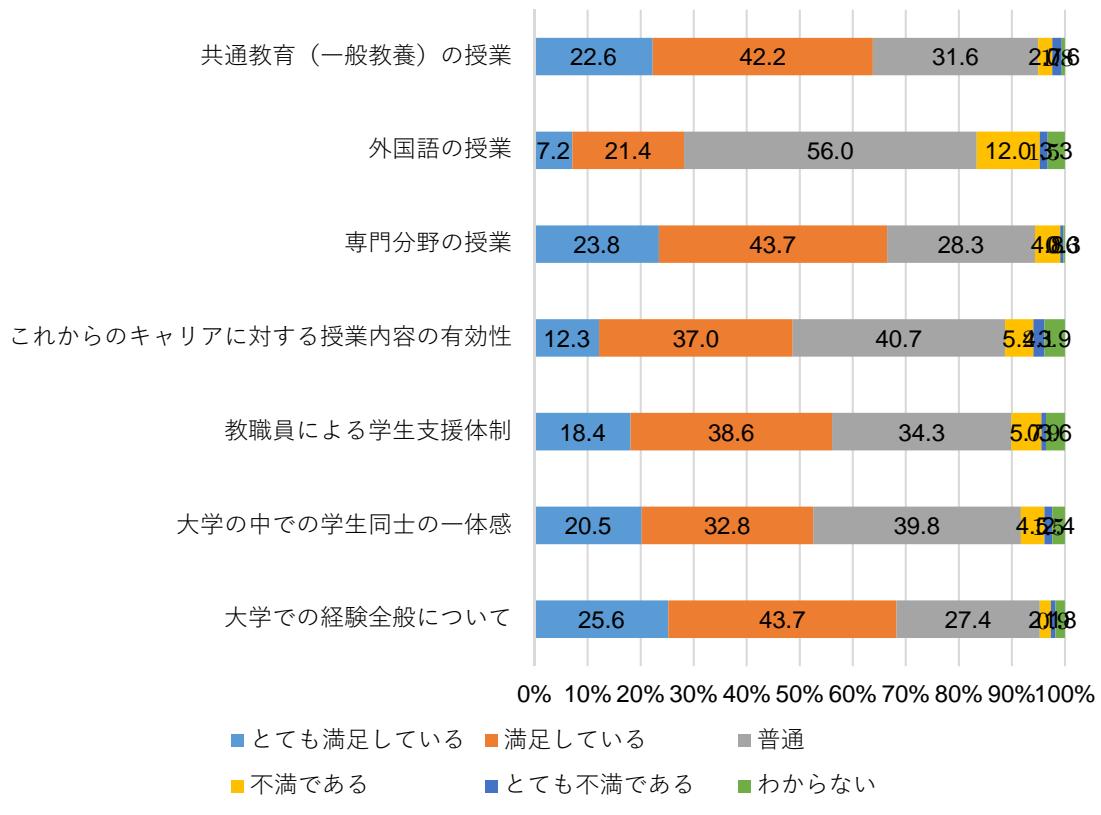
大学教育センター教育開発部門長：田村 豊

大学教育センター：日暮 美紀（データ解析）

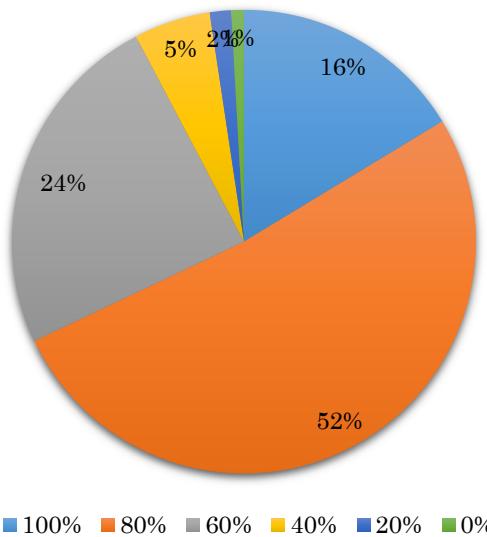
【解析データ】



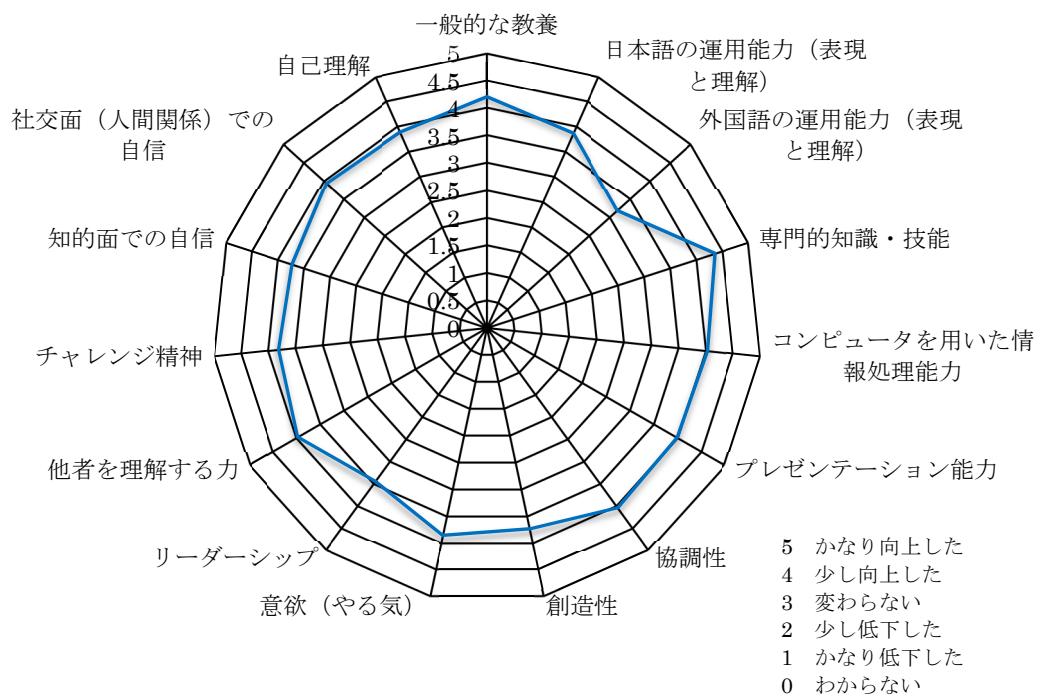
福山大学での学生生活にどれくらい満足していますか



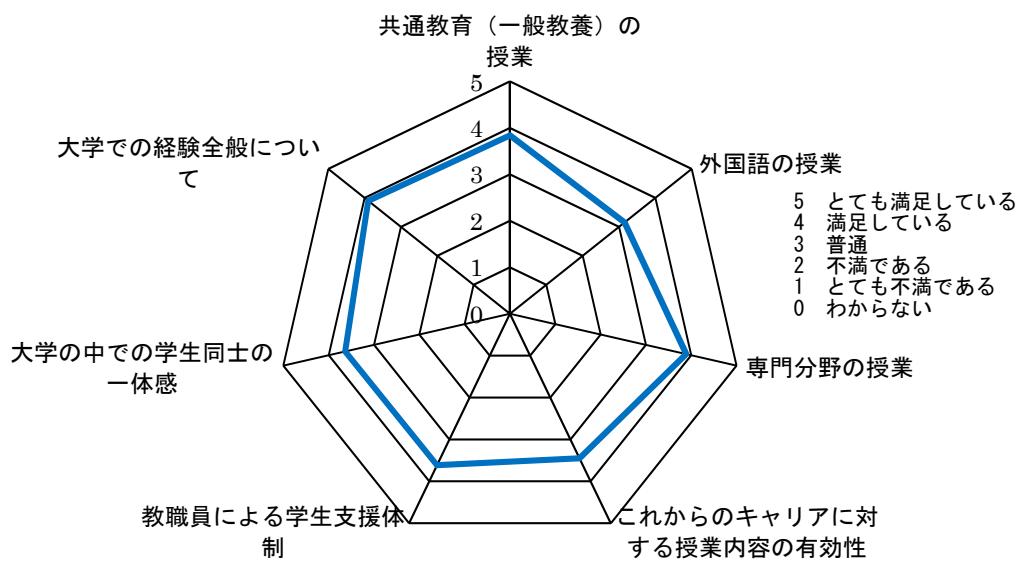
福山大学での学び全体を通して、あなたの満足度を%で表現すれば、次のどれに当たりますか？



福山大学での学びを経て、入学前と比べてあなた自身は
どのように変化したと思いますか



福山大学での学生生活にどれくらい満足していますか



設問[24] あなたは、もう一度福山大学で学ぶ機会が得られるとすれば、何を望みますか？
簡単に書いてください。

1. 保健体育の教員採用に向けてもっと力を入れて欲しい。
2. もっと1年次から教職を重点的に学びたい。
3. 教授の質の向上、教養講座の講師をきちんと選定してください。
4. 専門資格や教員免許を取得したい。
5. 海外留学にチャレンジしてみたい。
6. 一般教養の授業で受講していない授業をとりたい。
7. 経済学全般を学びなおしたい。
8. サークル活動をしたいと思います。
9. 交通の便をもっと発展させてほしい。
10. 積極的に、プロジェクトMや海外留学などに参加し、大学生活の中でしかできないことに取り組んでみたいと思いました。
11. 1限ごと授業に真剣に取り組み、専門的な知識を更に深めてたいと思いました。
12. 教員採用試験の専門分野の学習を徹底的にしたい。
13. 教員採用試験での対策。
14. 金融知識をみにつけたい。
15. アニメの知識、交友関係向上、FP技能士などの資格の講義をもう一度深く勉強したい。
16. 違う学部の講義をとっていろいろな見識を深めていきたい。
17. 大学に一から入りなおし、工学部において学ぶことを望む。
18. 心理学を学んでみたかった。
19. 教職に対する学習の機会を増やしてほしい。特に教員採用試験に関する学習の場を設けてほしい。
20. 外国語、留学先が増えたり、回数が多くなればいいと思う。
21. 地域経済・金融証券の知識、交換留学の形式ではなくて、一年生から始めようと思います。学校のランクが上がりますように。
22. サークルの部室、資格の取得に力をいれたい。
23. 検定試験に向けた授業を充実させてほしいです。
24. 他学科の学問をしてみたい。、
25. 韓国語があれば受講してみたいです。
26. 経済学部に女の子がいないから、女子に魅力のある学部を開設すべき。
27. サークルや部活動にもっと関心を持ちたいです。
28. 現在専攻している心理学のもっと専門的なこと。
29. 大学として広いのはよいが、遠かったり不便だったりするのでもう少し大学での時間を有効にできる場所があればよかったと思う。

30. 地方大学の再生について:大学の目指すものと地方の目指すものの関係・新しい尺度作成、もう一度同じ大学生活を送りたいです！
31. 他の学部、学科でも勉強してみたい。
32. 資格取得や語学をより積極的に学びたい。、
33. バスでの利便性(便数を増やして、時間になつたら必ず出るようにして欲しい)向上と、パソコン等の設備による学習面でのサポート(パソコンの OS を古いのから新しいのに変えて処理速度を速いモノにしていただきたい(特に心理がある 29 号館)体制。
34. もっと、「この大学でしか」学ぶことのできないことを学びたい。
35. 職員の方と先生方との連携(情報の共有や方向性の統一)感をよくしていただきたい。
36. 心理学のもっと専門的な授業をうけたい。
37. 英語を学び直したかった。
38. 機械関係、他分野の講義も受けてみたい。
39. 専門知識を絶対しっかり勉強することです。
40. 今度は人文に入ってオタク分化(おもにライトノベル)の研究がしたい。
41. 専門分野、デザインについて、また 1 年生から学び直したい気持ちがあります。次も映像制作への知識を深めたいので、映像の授業などを受けたいです。
42. 就職に役立つ授業がしたい。
43. 英語をもっと勉強すればよかった。
44. 授業が少なかったんですが、個人的にプログラミングがやりたいです。
45. 専門的な知識を深めていきたい。
46. 学問、大学で学んでいない分野を学ぶこと。
47. プログラミング、廬山昇龍霸の習得、言語(母国語、外国語不問)、専門授業
48. 語学力(英語)を上げて留学をしたい。
49. 専門知識をもっと理解したい。
50. もっと詳しく設計したい。
51. もっと設備について学びたい。
52. まだまだ理解できることもあるので専門教科の勉強をしたいと思う。
53. もっと、社会に出てからることを教えるべきである。
54. 他の学科で学びたい。
55. 早い段階から資格取得のための学習をしたい。
56. 単位を落とさずすべて取得したい。
57. 資格の勉強、専門知識についてなど学業の面。
58. 大体満足した。
59. セキュリティの勉強がもつとしたかったが、私の在学中に専門の講師が居なかったので物足りなかった。
60. もう一度学ぶならセキュリティをがっつり学びなおしたい。"

61. サークルに入る、サークル活動をしてみたい。
62. 違う学科で学びたい。
63. 大学生活で家から学校が遠い事もあり、あまり学生達と遊んでいなかったが、もっと幅広い友人関係を広げていけたらよかったです。
64. 喫煙所を増やして欲しい。
65. 文型の学部学科での勉強もやってみたいと思いました。
66. 学生会館の2階をもう少し価格を押さえてほしい。
67. 学びたくないし、学ぶ意味がない。
68. 就職後に生かせる自己表現能力向上のための授業（プレゼンテーション、発言等、生徒が積極的に発言する授業）を受けたいです
69. 自分が四年生になった時にやってみたい授業が一年生用とかでできたのでそれらを勉強してみたいです。
70. 研究の続き。
71. 海洋の授業を学びたい。
72. 大学院に行きたい。
73. 他の学科もみたい。
74. 売店や学生課までが遠いので、もっと移動手段を良くするなどしてほしいです。また、イベントが他大学に比べて悲しいので、もっと華やかにしてほしいです。
75. 管理栄養士や栄養士の活躍の場について詳しく知りたいです。
76. インフラ、特に海洋生物科学科でのことですが因島へのバスが午前一便、帰校に一便というのではありませんが少なすぎると思います。授業がある四年生はかなり辛く、三年生の見学などが滞るのでもう少し譲歩を。また、本学では一年から三年まで生命工の16号館周辺棟だけ不便に感じます。研究室でも設備には少々不満があります。
77. 別の専門分野を学びたいです。
78. もう一度、海洋動物行動学研究室で活動し無人島での調査など、フィールド調査をしたい。
79. もっと哺乳類に関する授業があれば良いと思った。
80. 卒業研究や研究室配属をもっと早い学年時から始めたかった。
81. 学芸員過程の授業を最初から受けなおしたい。ほかにもいろいろな資格に挑戦したい。
82. 学芸員を取るにあたって必修の科目と卒業するのに必要な必修科目をかぶせないでほしい。
83. 単位に余裕を持たせてもらい、興味のあるさまざまな学部の授業を受けてみたい。
84. 発生学だけでなく、観賞魚の飼育ももう少し詳しく学びたい。
85. 実験する空間がほしかったのと設備へのお金の掛け方をよく考えていただきたい。
86. 外国語の積極的な取得、実験をする空間の広さ。
87. バスの本数を増やしてほしい。

88. 4年間満足な生活を送りました。
89. ありがとうございました。
90. 資格科目が卒業単位に反映されない事、学科の必須科目と重なる事など取得しづらい環境だと感じたため、資格関係の単位を取りやすい環境を整えてほしいと思います。
91. もっと広い分野の知識を学習したい、ネット環境の充実、因島キャンパス行きのバスの本数が少ないので増やしてほしい。
92. 因島キャンパスだと本学での連絡事項がほとんど来ないので確認するのが大変。
93. 因島キャンパスだと本学である講義が受けづらい。
94. 英会話。もう少し力を入れてほしかった。(英会話の授業が30分で終わったり内容が中学生並だったり、不満があった。)
95. 履歴書に書けるような検定。(就職活動の際にもう少し自信が持てたと思う)、もっと専門的な知識や卒業論文のアドバイスを教員から受けたかった、私は、不必要なところに資金を投資して外部の方々を接待するような無駄な資金運用は避けてほしいと願います。各学部学科にもっと資金を投資して学問を学ぶ施設などの補強をし、より高度な学問や技術を学び、身につけられる環境を望みます。
96. もう一年研究を続けたかった。
97. 研究をもつとする時間を望みます。
98. 卒業研究についてもっと細かいことを行うことと専門知識について進んで学ぶべきと思いました。4年間ありがとうございました！
99. 研究を早い段階から行いたかった。
100. 外国語をもう少し詰めて勉強してみたいです。
101. 1年次から、図書室を利用し研究や知識面の充実や研究室での研究を充実させたい。
102. もう少し実験をしたかった。私が携わっている実験の最終的な結果を知ることなく卒業してしまうのは少し惜しい気がする。
103. プログラム言語、また同じようにたくさんの友人と、素敵な教授に囲まれて、学生生活を送りたいです。
104. もう一度薬学を学びたいです。
105. 内容としては、自分が所属した研究室ではなく、ほかの研究室で実験を行いたいです。
106. もう少し勉学に集中する、プレゼンテーション能力、もっとパソコンを使えるようになり、プレゼンテーション資料の向上とプレゼンテーション能力を向上させたい。
107. 分子微生物学、施設の利用時間の延長、休日の利用。
108. 自分の得た知識の応用力とプレゼンテーション能力の向上。